

2025 年度 中津市立緑ヶ丘中学校部活動基本方針

1. 部活動の意義

- (1)生徒の興味関心を引き出しながら活動することによって、成長期にある生徒の心身の向上を図る。
- (2)異年齢集団による活動を自治的な活動を基本とし、望ましい人間関係や礼儀・マナー等の社会性が養える。
- (3)生徒の特性を伸ばし、自信をつけさせることによって、生き生きとした日常生活や学校内での活動が期待できる。

2. 基本方針

「自主 文武両道」

「（課題に）気づき、（解決を目指し）考え、（未来を拓くために）実行する生徒の育成」

- (1)生徒の主体的な運営による活動を基本とし、明るく元気のよい部活動を目指す。
- (2)勝つことを優先し、無理な練習日程を組んだり、生徒に過重な負担をかけたりすることのないように活動内容を工夫する。
- (3)それぞれの立場の生徒があることを十分考慮して個別最適な指導にあたる。
- (4)毎年、入部届けを提出し所属を確認するが、3年間同じ部で活動することを原則とする。転部希望のあるときは、担任、部活動顧問、保護者とよく相談し、教育的配慮の中で判断する。
- (5)生徒の健康管理と安全面に配慮した部活動を目指す。

3. 部活動運営について

- (1)活動の時間は勤務時間を超えることがあるが、内容的には学校教育活動の範囲で行う。
- (2)技術指導だけでなく、生活指導、精神面の指導も合わせて行う。
- (3)生活態度がしっかりとすれば人間関係が深まり、練習に熱中でき、勝つ要素が増え、大きな満足感が得られることを感じさせたい。
- (4)練習試合、練習会の機会をつくり、意欲が持続するように、また、多くの生徒が出場経験を持ち、試合の雰囲気、個の存在感が味わえるようにする。
- (5)大会、試合参加の予告、結果の発表の場をつくり、意欲を高め、励まし合い、勝敗にこだわらず、努力したことをチーム内や学級で認め合うようにする。（掲示板・通信・全校集会等）
- (6)学校に来る目的は、学力の向上、集団生活の中で個人を向上させることであるから、気持ちよく授業に臨み、清掃などの作業への積極的参加により学校生活をより充実したものにしていきたい。そのために、部員内でこのことを充分に自覚させたい。
- (7)部活動の練習場所・施設・設備・用具等の安全を定期的に点検・確認し、安全・安心な部活動運営に努める。

本校の部活動申込用紙の条文

緑ヶ丘中学校では、生徒のスポーツ及び文化活動に対する要求を満たすよう部活動を行っています。この活動を通し、中学生としての自覚と誇りをもち学校生活の規則を守り、自身の健全育成と校訓である「文武両道」の実現を目指すたくましい人間性を養うことを目標にしています。

中津市立中学校の部活動の在り方に関する方針（2024年4月中津市教育委員会）一部抜粋

○休養日及び活動時間の基準

- 週当たり2日以上（平日1日以上、週休日1日以上、定期テスト前3日間）の休養日を設ける。

※原則、水曜日を部活動を行わない「ノーブラフデー」とします。

- 活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とし、できるだけ短時間で、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。

- 学校完全閉校日（夏季・冬季）は部活動も休養日とする。

大分県の学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針（2024年3月大分県教育委員会）一部抜粋

○適切な休養日等の設定

- ・週当たり2日以上の休養日を設ける（平日1日以上、週末1日以上）

- ・活動時間は、長くとも平日2時間程度、休業日3時間程度とし、できるだけ短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動を行う

4 活動の確認事項

○活動日、休養日を明確にすること

○放課後の開始時間と終了時間の徹底　※キャブテンとの連絡を密に行うこと

○練習場所、部室、更衣場所から下校するまで確認

○終了時間によっては、保護者の協力を依頼する。

○自転車指導（ルール、マナー、ヘルメット）部活動生はヘルメットを購入する。

○活動終了時刻は、18時30分、冬季は18時下校。学校外の練習場所等で行う部活はその限りではない。ただし、安全面には十分に配慮すること。

※部活動終了18時30分下校（市新人大会以降18時下校、2月まで）

また、1年生の体験入部期間は17時下校とし、入部当初は、1年生の体調面を配慮した下校時間を設定する

緑ヶ丘中学校では、どの部活にも必ず2人は顧問が位置づけられています。これは、中津市の部活動の在り方に関する方針の中で、「不測の事態が発生した場合に適切な対応ができるよう、顧問の複数配置を可能な限り行う」となっています。また、顧問の先生方の負担を軽減するための複数顧問もあります。どちらか一方がすべてを担うのではなく、お互いに分け合って、お互いの負担が減らせるような連携をとつていただければと思います。多くの教職員で生徒に関わりながら、学校を活気づけていくような部活動になってほしいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。